

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年 3月 5日

計画の名称	8 適切な道路施設の保全と安全安心な道路環境を確保する道づくり（防災・安全）																															
計画の期間	平24年度 ～ 平28年度（5年間）	交付対象	今治市																													
計画の目標	災害に強い道づくりを目指して、橋梁やトンネル及び附属施設の点検と補修を行い、災害時でも強い道路のネットワークの確保を行うとともに、安全安心な道づくりを目指して、歩行者や自転車の交通ネットワークの確保を行う。																															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車の安全安心の確保を必要とする道路を全て整備済みとする。 橋梁点検(857橋)、トンネル点検(4本)、道路付属施設点検(1424基(横断歩道橋3基、道路標識94基、道路照明灯1327基))により抽出された要補修道路施設を全て対策済みとする。 																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者、自転車ネットワーク整備率 (整備率) = (整備済延長) / (要整備延長)</td> <td>0.00%</td> <td>90.14%</td> <td>100.00%</td> <td rowspan="5">・今治市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1-6, A1-9, A1-10, A1-11, A1-12, A1-13, A1-19, A1-20, A1-21</td> </tr> <tr> <td>対策済橋梁(2m-5m)数の増加 (対策済橋梁率) = (対策済橋梁数) / (要対策橋梁数)</td> <td>0.00%</td> <td></td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>対策済トンネル数の増加 (対策済トンネル率) = (対策済トンネル数) / (要対策トンネル数)</td> <td>0.00%</td> <td></td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>対策済道路付属施設数の増加 (対策済道路付属施設率) = (対策済道路付属施設数) / (要対策道路付属施設数)</td> <td>0.00%</td> <td></td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>市道（1, 2級市道を除く）の改良率の増加 (市道の改良率) = (改良済延長) / (全体延長)</td> <td>62.07%</td> <td>62.11%</td> <td>62.12%</td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	歩行者、自転車ネットワーク整備率 (整備率) = (整備済延長) / (要整備延長)	0.00%	90.14%	100.00%	・今治市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1-6, A1-9, A1-10, A1-11, A1-12, A1-13, A1-19, A1-20, A1-21	対策済橋梁(2m-5m)数の増加 (対策済橋梁率) = (対策済橋梁数) / (要対策橋梁数)	0.00%		100.00%	対策済トンネル数の増加 (対策済トンネル率) = (対策済トンネル数) / (要対策トンネル数)	0.00%		100.00%	対策済道路付属施設数の増加 (対策済道路付属施設率) = (対策済道路付属施設数) / (要対策道路付属施設数)	0.00%		100.00%	市道（1, 2級市道を除く）の改良率の増加 (市道の改良率) = (改良済延長) / (全体延長)	62.07%	62.11%	62.12%
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																											
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)																													
歩行者、自転車ネットワーク整備率 (整備率) = (整備済延長) / (要整備延長)	0.00%	90.14%	100.00%	・今治市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1-6, A1-9, A1-10, A1-11, A1-12, A1-13, A1-19, A1-20, A1-21																												
対策済橋梁(2m-5m)数の増加 (対策済橋梁率) = (対策済橋梁数) / (要対策橋梁数)	0.00%		100.00%																													
対策済トンネル数の増加 (対策済トンネル率) = (対策済トンネル数) / (要対策トンネル数)	0.00%		100.00%																													
対策済道路付属施設数の増加 (対策済道路付属施設率) = (対策済道路付属施設数) / (要対策道路付属施設数)	0.00%		100.00%																													
市道（1, 2級市道を除く）の改良率の増加 (市道の改良率) = (改良済延長) / (全体延長)	62.07%	62.11%	62.12%																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,695 百万円	A 1,573 百万円 B 0 百万円 C 122 百万円 D 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	7.2%																											
事後評価																																
○事後評価の実施体制、実施時期																																
事後評価の実施体制			事後評価の実施時期																													
今治市社会資本総合整備計画等評価委員会による評価			平成30年3月																													
			公表の方法																													
			今治市公式ホームページにて公表																													

交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
A1-1	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	大野鹿ノ子線	現道拡幅 L=0.35km	今治市						38	-	
A1-2	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	今治駅高橋線 高橋工区	自歩道整備 L=0.50km	今治市						101	-	
A1-3	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	交安	今治駅天保山線	自歩道整備 L=0.90km	今治市						0	-	
A1-4	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	交安	今治駅北浜町線	バリアフリー整備 L=0.32km	今治市						108	-	
A1-5	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	交安	恵美須鯉池町線	バリアフリー整備 L=0.15km	今治市						40	-	
A1-6	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	大浜糸山線 第1工区	現道拡幅 L=0.58km	今治市						26	-	
A1-7	街路	一般	今治市	直接	-	S街路	改築	学校線	現道拡幅 L=0.39km	今治市						132	-	
A1-8	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	自転車利用環境整備事業	ブルーライン L=3.5km	今治市						9	-	
A1-9	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	橋梁(5m以上)修繕事業	橋梁修繕	今治市						490	策定済	
A1-10	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	橋梁(2m-5m)補修事業	橋梁修繕	今治市						156	未策定	
A1-11	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	トンネル補修事業	トンネル修繕	今治市						19	未策定	
A1-12	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	附属施設補修事業	附属物修繕	今治市						70	未策定	
A1-13	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕計画策定	修繕計画策定委託	今治市						98	策定済	
A1-14	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	道路ストック総点検調査等	点検及び補修要綱策定業務	今治市						49	-	
A1-15	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	高地延喜線 阿方工区	バイパス L=0.76km	今治市						34	-	
A1-16	街路	一般	今治市	直接	-	S街路	改築	今治駅西高橋線 片山工区	現道拡幅 L=0.40km	今治市						12	-	
A1-17	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	八町松木1号線	バイパス L=0.16km	今治市						0	-	
A1-18	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	品部本線	現道拡幅 L=0.10km	今治市						12	-	
A1-19	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	改築	今治駅西側線	バリアフリー整備 L=0.65km	今治市						8	-	
A1-20	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	市道大坪通町谷線 榎橋	橋梁更新	今治市						162	策定済	
A1-21	道路	一般	今治市	直接	-	市町村道	修繕	橋梁耐震補強事業	橋梁耐震補強	今治市						9	策定済	
小計(道路事業)														1,573				
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H24	H25	H26	H27	H28				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H24	H25	H26	H27	H28				
C1-1	計画・調査	一般	今治市	直接	-	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定	修繕計画策定委託	今治市(全地域)						2			
C1-2	計画・調査	一般	今治市	直接	-	計画・調査	道路ストック総点検調査等	点検及び補修要綱策定業務	今治市(全地域)						115			
C1-3	道路	一般	今治市	直接	-	修繕	橋梁撤去事業	橋梁の撤去	今治市(全地域)						5			
合計														122				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C1-1	予防的な修繕及び計画的な架替へへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。																	
C1-2	震災時等に附属施設等が倒壊し道路ネットワークが寸断されるような状況を回避するため、橋梁(2m-5m)、トンネル、道路付属施設(照明灯、標識、横断歩道橋)の点検業務をおこなうとともに、要補修箇所の選定や補修方法のマニュアル作成をおこなう。																	
C1-3	補修を行った橋梁に隣接する橋梁を撤去することにより、維持管理経費の節減を図る。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
									H24	H25	H26	H27	H28					
合計														0				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車の安全安心の確保を必要とする道路については、道路空間の再編やバリアフリーに取り組み、歩行者や自転車の安全安心の向上が図られた。 道路ストック総点検により確認された損傷度の大きい部材をメインに補修を実施することとしていた。詳細調査の結果、橋梁については補修対応よりも架け替えをしたほうが初期投資は大きい将来にわたる維持コスト（LCC）が削減されることから、架け替えを実施した。この結果、長期的な視点での老朽化対策が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（歩行者、自転車ネットワーク整備率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	当初本計画期間で予定していた延長L=5.31kmをすべて完了させ、今治駅西側線（今治市交通バリアフリー基本構想の準特定路線）において次期5ヵ年計画で実施予定箇所を前倒しで実施したことにより実績延長L=5.37kmとなり、目標以上の成果となった。
		最終実績値	101.1%		
	指標②（対策済橋梁(2m-5m)数の増加）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	要対策橋梁37橋のうち、19橋について対策を完了した。詳細調査の結果、補修よりも架け替えの方が将来にわたる維持管理コストの低減につながるものがあり、補修工法の見直しによる対策費増により、予定数を下回る結果となった。未対策橋梁については次期5ヵ年計画でも実施予定であるが、当面点検頻度を多くすることで対応する。
		最終実績値	51.4%		
	指標③（対策済トンネル数の増加）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	要対策トンネル4基のうち、2基について対策を完了した。他施設（5m以上橋梁）の損傷度合いが大きいことから限られた事業費を優先的に配分せざる得なかったため、予定数を下回る結果となった。未対策トンネルについては次期5ヵ年計画でも実施予定であるが、当面点検頻度を多くすることで対応する。
		最終実績値	50.0%		
	指標④（対策済道路付属施設数の増加）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	要対策道路付属施設49基のうち、47基について対策を完了した。詳細調査の結果、横断歩道橋で対策費用が増となり、予定数を若干下回ったが、概ね目標は達成できた。
		最終実績値	95.9%		
	指標⑤（市道（1,2級市道を除く）の改良率の増加）	最終目標値	62.12%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	62.12%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		限られた事業費で、より優先順位の高い事業に配分し、橋梁全体として老朽化対策が図られた。また学校線整備による国道と県道のアクセス時間短縮や、地元から長年要望のあった品部本線の整備など、今回の道路整備による周辺住民の利便性や満足度は向上したものと思われる。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
未補修の施設については、点検頻度を高くするなど、引き続き適切な維持管理に努めたい。また、長寿命化修繕計画が未策定となっているトンネル及び歩道橋について、長寿命化修繕計画を策定することにより、LCCや修繕コストの平準化を図り、より計画的な老朽化対策に取り組みたい。また計画策定時の数値目標におけるアウトカム指標については、適切な設定が難しいものの、引き続き検討していく。					